

# 研 究 所 日 誌 (昭和54年度)

昭和54年4月1日～昭和55年3月31日  
桃山学院大学総合研究所

## 〔A〕 共同研究関係

### 1. プロジェクト活動

#### ① (77共J) 被差別部落の歴史と現状分析 (代表: 沖浦和光)

- ・ 4月29日 ヒヤリング 和泉部落, 井上氏の聞き取り調査 (芸能関係)
- ・ 7月5日 研究会
- ・ 11月10日 ヒヤリング 「戦後の左翼運動と水平社運動との関連について」  
佐野博氏 (東京) にヒヤリング
- ・ 12月26日～27日 調査活動 高知県の部落調査
- ・ 2月16日～17日 シンポジウム参加 「解放理論をめぐるシンポジウム」 部落解放研究所主催, あやめ池
- ・ 3月11日～13日 調査活動 広島県, 瀬戸内海島嶼部における被差別部落の実態, 歴史調査

#### ② (77共K) 計画と市場—理論的ならびに実証的研究— (代表: 竹浪祥一郎)

- ・ 7月4日 研究会 鈴木, 津田報告をもとに討論
- ・ 11月15日～16日 資料収集と調査 日本評論社, 国立国会図書館, ユーゴスラビア大使館, アジア経済研究所, 津田・鈴木
- ・ 2月6日 研究会 竹浪報告をもとに討論, 於, 都市文化センター
- ・ 2月19日～21日 資料収集と調査 一橋大, 横浜市大, ジェトロ

#### ③ (78共L) 19世紀の科学と文化 (代表: 後藤邦夫)

- ・ 7月6日 研究会 安藤報告
- ・ 9月14日 研究会 「Edinburgh Review と物理学」 (後藤報告)

#### ④ (78共M) 1980年代の世界政治, 世界経済の動向 (代表: 勝部元)

- ・ 5月26日 研究会 「本年度研究計画他」 於, 都市文化センター
- ・ 6月16日 “ 「現代の国際情勢分析—中東戦争と 東アジア政治・経済・軍事の 情勢分析について—」 於, 都市文化センター  
長谷川慶太郎氏 (評論家) を講師に迎えて研究討論
- ・ 7月13日 研究会 「イタリアの総選挙動向分析」 (藤沢報告)
- ・ 12月26日～27日 合宿研究会 於, 伊勢志摩
- ・ 3月23日～24日 “ 於, 有馬古泉閣

#### ⑤ (78共N) 大都市構造の変化と福祉問題 (代表: 佐藤洋)

- ・ 5月23日 研究会
- ・ 12月23日～25日 合宿研究会 於, 石川県

#### ⑥ (78共O) <聖なるもの> に関する総合的研究 (代表: 岩津洋二)

- ・ 5月29日 研究会 「なぜ <聖なるもの> を問題とするか」

- ・ 7月11日～12日 合宿研究会 「三輪山周辺の現地調査及び研究発表」 於、奈良県長谷寺，グランドホテル伊谷屋
- ・ 7月3日 調査 大本教研究のため綾部へ出張
- ・ 10月4日 研究会 「ギリシア報告」(山川)
- ・ 12月6日 " 「イスラエルを訪れて」(岡報告)
- ・ 12月14日 " 「キリスト教における聖性について」(滝沢報告)
- ・ 2月28日 " 「パルメニデスと天の岩屋」(山川報告) 於、なにわ会館

⑦ (79共Q) 日本の経営の諸問題 (代表：植村省三)

- ・ 6月1日 研究会
- ・ 6月29日 研究会 「日本の経営と環境変化」(植村報告) 於、阪南荘
- ・ 7月26日 " 松本広治氏(富士レンジ工業)を講師に招いて講演及討論研究会
- ・ 9月8日 " 松井俊文氏(伊藤忠商事) " " "
- ・ 11月17日 " 「日本の経営の方法論について」(稲別報告)
- ・ 9月16日～20日 資料収集と調査 東京：日立，東芝，日本電気，本田，三菱，富士通(徐)
- ・ 2月2日 研究会 「日本の経営の特質をめぐる研究と論議—その評価」(梅沢報告)  
於、都市文化センター
- ・ 2月7日～12日 研究調査 京都大学法学部図書館
- ・ 2月26日～28日 資料収集 東京：日本労働協会，経団連，国際文化会館，日本生産性本部
- ・ 3月3日 研究会 「テイラーシステムをめぐって」(内海報告) 於、なにわ会館

⑧ (79共R) 在日韓国・朝鮮人の現状分析 (代表：徐龍達)

- ・ 6月11日 研究会 今後の研究会のもち方及び資料収集方法について
- ・ 7月9日 " 各スタッフの問題提起と意見交換
- ・ 9月27日 " 呉・朴両氏の問題提起と意見交換
- ・ 11月2日～4日 研究会参加 第5回民族差別と闘う連絡協議会全国交流集会(神奈川)
- ・ 12月16日 講演と研究会 「在日韓国・朝鮮人の国民年金に関する法的諸問題」(金敬得弁護士の講演)
- ・ 11月16日 打合せ 実態調査要領の検討
- ・ 2月7日 研究会 講師：崔昌華(八幡大)
- ・ 2月21日 打合せ
- ・ 3月7日 研究会と講演会 「在日韓国・朝鮮人の生活権の実態分析」  
講師：裴重慶(在日韓国人問題研究所) 於、なにわ会館
- ・ 3月13日～15日 資料収集 民族問題研究所(東京)

⑨ (79共S) マージナルマン—その学際的研究— (代表：倉橋重史)

- ・ 6月4日 研究会 「マージナルマンについての社会学的研究—試論—」(倉橋報告)
- ・ 8月2日～3日 研究調査 マージナルマン亡命科学者に関する文献収集の為  
東京経済大，上智大，他，出張調査
- ・ 7月10日 } 資料収集 民族学，神道，宗教学の資料収集及ディスカッションのため，国学院大学の
- ・ 7月26日 } 小野・藺田各研究室訪問
- ・ 10月29日 研究会 「女性学への誘い—パーソナリティの発達を中心に—」(大利報告)
- ・ 11月26日 " 「生活の場におけるマージナルマン—少数者集団におけるリーダーの場合—」(鳥越報告)
- ・ 12月27日～28日 資料収集 国立国会図書館他
- ・ 1月25日～26日 " "

- ・ 2月7日～9日 資料収集 国立国会図書館 カナダ大使館他
- ・ 2月26日           "           (東京)

#### ⑩ (79共T)「言語の本質」についての総合的研究

- ・ 6月12日           研究会
- ・ 6月19日           "
- ・ 9月11日           "       「なぜ変形成文法によって言語研究をすのか？ —認知能力としての生得言語能力—」(清水報告)
- ・ 3月10日           "       「条件文の論理分析」(長谷川存報告) 於,なにわ会館

## 2. その他, 共同研究関連事項

- ・ 5月8日           プロジェクト代表者会議
  - ①昭和54年度各プロジェクトへの予算配分決定
  - ②「共同研究に関する内規」の一部改正了承
  - ③共同研究の成果発表の方法について論議
- ・ 10月18日       共同研究(プロジェクト)に関する座談会
- ・ 10月20日       昭和55年度共同研究(プロジェクト)申請締切(→12プロジェクト申請)
  - " 54年       "       補正予算       "       (→1プロジェクト" )
- ・ 11月5日       55年度申請のプロジェクトを承認(第13回研究所委員会)
- ・ 11月29日       プロジェクト代表者会議
  - ①補正予算(79共Rからの申請)について討議, 決定
  - ②研究所から   イ. プロジェクトのオープン化
  - ロ. 学外, 研究助成費(科研等)の利用 } の3点要請
  - ハ. 成果発表を所報へ
- ・ 12月7日       79共Tプロジェクト(代表: 清水)から昭和55年度活動の一時中止願出る。(12月13日の第13回研究所委員会で承認)

## [B] 国際交流関係

### 1. B(ボッコニー大)M(桃山学院大)関係

- ・ 4月上旬       BM報告予定者打合せ会合
- ・ 6月7日       Bから資料(国際シンポ関係論文集及 draft・paper)
- ・ 6月18日       "       (       "       "       )
- ・ 7月10日       Bから「国際シンポ延期通知」来る(個人宛)
  - ①1979年秋→1980年春に
  - ②テーマの変更
- ・ 7月20日       BM報告予定者打合せ会合(岡崎, 佐藤, 藤沢, 庄谷, 稲別, 野村)
  - ①BMシンポは「国際シンポ」(B大主催で定期的に行っている)に包括されたと見るべきであろうという点で一致
  - ②延期とテーマ変更という状況の中で, 現報告予定者(上記6名)の参加はむづかしい
- ・ 8月1日       MからB(フォデツラ氏)へ問合せの手紙出す
  - ①BMシンポはB主催の「国際シンポ」に包括されたと考えていいか
  - ②延期された「国際シンポ」への報告者を変更したいがどうか
- ・ 8月1日       上記の経過説明と新たな報告者募集の文書を全教員へ送付
- ・ 9月28日       事態についての詳細を聞くため, 国際電話(庄谷所長→フォデツラ氏)

- ・10月24日～27日                “                “                庄谷所長ミラノへ（フォデッラ，西川，ラウリア各氏と会う）
- ・11月5日                Bからの公式説明のない状況の中でBMシンポ関係についての研究所委員会の現状見解をまとめる（11/16 第11回合同教授会に報告）
  - ①研究所委員会としてはBMシンポが「国際シンポ」に包括されたものと認識し準備している。
  - ②上記への報告者及びテーマは下記の通りである
    - ・伊代田「戦後日本の分配率変動とその要因分析」
    - ・鈴木「日本とイタリアのマーケティングシステムの比較研究」
    - ・後藤「日本に於けるエネルギー選択と日本のシナリオ」
- （55年4月10日）    庄谷所長→フォデッラ氏へ国際電話  
「国際シンポ」更に延期（1980春→1981春）

## 2. その他の国際交流関係事項

- ・6月上旬                佐藤教授訪ソに際し、「ソ連科学アカデミー」とのコンタクトを研究所から依頼
- ・9月28日                外国人研究者を囲んでの研究会  
ペーテル・グラット・フェルダー氏（ハンガリー価格局，付属研究所長）  
参加（学内9名，学外7名） 於，都市文化センター
- ・10月22日～23日    バリ，社会科学高等研究院＝現代日本資料センター訪問（庄谷所長）  
本学との紀要関係の資料交換をとりきめる

## 〔C〕 出版物関係

### 1. 学内紀要（論纂）

- ・経済経営論集    21巻1号（6/19 発刊） 21巻2・3号（12/15 発刊） 21巻4号（55.3/末 発刊）
- ・社会学論集    13巻1号（12/9 発刊） 13巻2号（55.3/末 発刊）
- ・人文科学研究    15巻1号（9/6 発刊） 15巻2号（12/22 発刊）
- ・キリスト教論集    16号（12/21 発刊）
- ・総合研究所報    5巻1号（10/1 発刊） 5巻2号（55.3/末 発刊） 5巻2号別冊（55.3/末 発刊）  
〔経〕21-2・3 〔社〕13-1 〔人〕15-2 〔キ〕16……大学創立20周年記念号として刊行  
〔所〕5-2別冊は，社会教育委の公開講座の講演分を78Mプロジェクトの成果発表特集として刊行

### 2. 学術出版助成

- ・「再版分については，出版社と著者の問題と考え，研究所は関与しない」ことに決定（54.12.13委員会）
- ・趙職濬著，徐龍達訳「近代韓国経済史」審査パス→55年未刊行予定  
\*4/未締切には上記を含め3件の申請があったが，その後都合で2件は辞退

### 3. その他関連事項

- ・研究所ニュース発行    3号（4/12），4号（5/18），5号（6/29），6号（9/29），7号（11/13），8号（2/1）
- ・雑誌編集者会議    第1回（5/9），第2回（6/15），第3回（10/25），第4回（3/7）
- ・54年度雑誌編集委員  
〔経〕鈴木，田平，〔社〕沼田，高坂，〔人〕松永，兼武，志保田，〔キ〕藤間，〔所〕藤間
- ・「桃山学院大学刊行各種紀要目次集及著者名索引」発刊（55.3.31）

## 〔D〕 資料，企画，調査

### 1. 文献目録利用に関するアンケート調査

専任教員対象に実施 第1回（5/22），第2回（8/1）

## 2. 他大学研究所訪問

- ・ 7/16 立命館大学人文科学研究所（ニュース 6 号に紹介）
- ・ 12/17 同志社大学人文科学研究所（ニュース 8 号に紹介）  
京都大学経済研究所

## 3. 54年度受入資料

- ・ 図書664冊——定期刊行図書（統計年鑑類，白書，調査報告書）を中心に
- ・ 雑誌215種——和雑誌209種，洋雑誌 6 種  
洋雑誌は，イタリア・ボッコーニ大学及びフランス・社会科学高等研究院との資料交換による

## 4. その他

- ・ 54年度資料利用状況  
貸 出 100冊  
返 却 161冊  
閲 覧 77名（うち学生 44名）  
レファレンス 29件

## 〔E〕 その他

### 1. 学内・学会関係

- ・ 54年度学会役員  
経済経営学会：〔会長〕菅井，〔編集〕鈴木，田平，〔研究・会計〕安元，海道  
社会学会：〔会長〕村上，〔編集〕沼田，高坂，〔研究〕梅沢，〔会計・庶務〕野々山，〔監事〕村山
- ・ 経済経営学会：研究会（6/8・9/27）
- ・ 社会学会：研究会（6/25），総会（7/6・10/1）

### 2. 研修会関係（参加分）

- ・ 4/24 経済資料協議会西部研究会（於，大経大）
- ・ 5/23 米国政府刊行物展示会（於，アメリカン・センター）
- ・ 6/19 地方調査機関全国協議会総会（於，名古屋）
- ・ 9/19 “ “ 大阪地区シンポジウム（於，商工会議所）
- ・ 10/25～27 図書館協会全国大会（於，東京）

### 3. その他

- ・ 研究所委員会（第1回～第22回）  
4/12，4/19，5/10，5/24，6/7，6/28，7/5，7/6，7/25，9/13，10/4，10/11，11/5，11/15，11/22，  
11/29，12/13，12/25，1/17，2/7，3/7，3/25
- ・ VTR機器（プロジェクト共同購入分）→視聴覚教室へ移管（7/9）
- ・ 短大瀬戸研との交流（12/19）
- ・ 新複写機購入（12/14）
- ・ 研究所掲示板を教員控室に設置（55.3）